

## 国語科

国語科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を身に付けることができるよう、3領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の指導事項がバランスよく配列され、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを形成するための言語活動が適切に取り上げられていること。
- 5 自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため、実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする活動が重視されているとともに、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりする中で、我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 国語科

### 調査研究の結果の概要

※3領域：話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと

#### ■東京書籍「新編 新しい国語1」「新編 新しい国語2」「新編 新しい国語3」

各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。

巻頭には、これから1年間で習得を目指す学習事項が掲載されており、生徒が新たな言葉の力を身に付けようとする動機付けとなっている。「学びを支える言葉の力」では、複数の単元で身に付けた力を活用できる言語活動や、情報の信頼性を確かめる活動が提案されるなど、学習や対話の基本を活動しながら身に付けられるよう工夫されている。また、各単元末の「てびき」にある「広がる言葉」では、語彙を広げ・活用する工夫が示されている。

調べ学習や情報収集する場面において、ICT機器の利用を促すとともに、「書く（伝達）」単元において、ICT機器を活用して新聞を作成するなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。

各単元の冒頭に、学習領域と生徒目線の問いかけが吹き出しで示されているとともに、単元末には、「てびき」として、学習目標・学習過程・振り返り活動が設定されている。特に、学んだことを自分の言葉でまとめ、振り返る活動では、各単元の目標や「言葉の力」を意識しながら振り返ることができる内容になっているなど、よく工夫されている。

社会生活との関連については、巻頭の「言葉の学習を始めよう」に、国語科の学習の意義が示されているほか、教科書全体を通して「未来を考えるための九つのテーマ」が設定されており、社会の課題と向き合えるようになっている。また、話すこと・聞くこと、書くことの単元には、日常生活や社会生活に関わる多様な内容が取り上げられているなど、生徒が国語科で培った言語能力を生活に生かしていこうとする態度を身に付けられるよう、よく工夫されている。

#### ■三省堂「現代の国語1」「現代の国語2」「現代の国語3」

各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。

各章に設定されている「読み方を学ぼう」では、様々な表現の仕方や文章構成、論理の展開が可視化されており、授業で習得した知識及び技能を確認することができるとともに、他の単元でも活用できるように思考に関わる用語や表現等が整理されて示されている。また、各学年の冒頭に「グループディスカッション」の単元が設けられており、生徒が年間を通して学習に活用できるよう工夫されている。各単元に用意されている「語彙を豊かに」では、新たに獲得した語彙を日常レベルでも広げる工夫が示されている。

グループでの話し合い活動の際に、ICT機器を活用して交流した例をイラストで掲載したり、読書の記録をつけるにあたってICT機器の利用を促すなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。

各単元の冒頭に、学習目標が示されているとともに、単元末に設定されている「学びの道しるべ」には、「学びを振り返る」として、生徒が学んだことを自分の言葉でまとめる手がかりとなるキーワードが示されているなど、工夫されている。しかし、「学びを振り返る」において、どの単

元においても「学んだことを自分の言葉でまとめよう。」と記載されており、生徒が自身の学びや気づきを言語化する手立てとしてはやや弱い。

社会生活との関連について、巻末の「社会生活に生かす」では、メモの活用、話し合いの形式、辞典の活用、手紙やメールの書き方等についてポイントや例が取り上げられているが、各学年とも同じ内容となっており、本文との関連も明確に示されておらず、生徒が国語科で培った言語能力を社会生活で生かすことを促す工夫がやや弱い。

#### ■教育出版「伝え合う言葉 中学国語1」「伝え合う言葉 中学国語2」「伝え合う言葉 中学国語3」

各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。

各単元の「学びナビ」では、その単元の学習のポイント、思考に関わる用語や表現等が取り上げられており、生徒が学習内容を把握しやすい。また、生徒が活用すべき言語能力を意識しながら、学習を進めていけるよう工夫されている。各領域で系統立てられた単元配置がなされた上で、各単元に目標と振り返りの項目が分かりやすく設定されており、学習の内容を整理しながら理解できるよう工夫されている。

各学年の「根拠を明確にして意見文を書く」、「構成を明確にして説明文を書く」、「情報を確かめてスピーチをする」活動において、ICT機器を利用して情報収集し、作成したものを生徒同士で共有する場面が設定されているなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。

各単元の前にある「学びナビ」で目標を確認するとともに、単元末に設定されている「みちしるべ」には、学習内容とその単元で行う言語活動、振り返り活動が示されており、見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、主体的に学習に取り組む態度についての振り返りもできるような課題や問いも設定されているが、各単元末の振り返り活動については、学習目標が達成できたかどうかをチェックボックスにチェックする形のため、生徒が自分の言葉でまとめる手立てとしてはやや弱い。

社会生活との関連について、巻末の「言葉の自習室」では、「模擬面接をしてみよう」「レポートの書き方」「アイデアの出し方」「話すこと・書くことテーマ例集」など、生活や学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を伸長するため、社会生活と関連付けた例が複数示されるなど工夫されている。

#### ■光村図書出版「国語1」「国語2」「国語3」

各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。

話すこと・聞くこと、書くことの単元では、各領域の力を融合させる「生かす」や、各単元での学びを有機的に関連させて活用する「学びのカギ」が設定されており、各領域の一体的な学びが深められるよう工夫されている。また、身に付けた語彙を広げ、生活の場面で活用する課題が設定される「言の葉ポケット」や、既習の技能の活用を通して単元の学習を始める「やってみよう」や読書単元の続きを紹介する「続きはこちら」等、生徒が自発的に学ぶための手立てがよく工夫されている。

各学年巻末の「ICT活用のヒント」において、各領域の学習過程でのICT機器の効果的な活用場面が示されているだけでなく、「学びへの扉」の中にもICTマークが表示され、ICT機

器の活用を促す工夫がなされており、生徒が個別最適な学びにつなげることをイメージしやすい点が優れている。また、「学びへの扉」の中では活動の説明に「友達と」「友達の」という表現が意図的に入れられており、協働的な学びにつながるタイミングを示す工夫がなされている。

単元の冒頭に、学習目標が示されているとともに、単元末の「学びへの扉」には、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」といった学習過程が視覚的に分かりやすく示されており、生徒にとって何をどのように学ぶのかが明確になっている。また、「振り返る」では、どの資質・能力に対する振り返りなのか明瞭であり、加えて主体的に学習に取り組む態度の振り返りでは自らの学びの調整を図るヒントとなる言葉が掲載されている。学んだことを自分の言葉でまとめるため、単元ごとに自己変容を意識できるような課題や問いが設定されており、優れている。

社会生活との関連について、案内文、手紙・メールの書き方、提案・スピーチ、討論の仕方等、社会生活と関連付けた学習活動が適切に取り上げられており、生活や学習の基盤となる言語能力、情報活用能力を身に付けられるよう工夫されている。また、話すこと・聞くこと、書くことの単元には、「生かす」として、日常生活や将来への生かし方が明示されており、特に、書くことの指導事項を取り扱う言語活動が多様で、生徒が知識及び技能を活用する場面も社会生活を想定した場面設定が効果的に盛り込まれるなど、よく工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	◎
		2	指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示	◎	△	△	◎
		3	新出漢字・語彙の習得に向けた工夫	○	○	○	○
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1	習得した知識及び技能の活用を促す工夫	○	○	○	◎
		2	問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫	◎	◎	○	◎
		3	思考力、判断力、表現力等の育成に向けた工夫	○	○	○	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	◎	○	○	◎
		2	発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	◎
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○	○	◎
4	国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を身に付けることができるよう、3領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の指導事項がバランスよく配列され、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを形成するための言語活動が適切に取り上げられていること。	1	3領域のバランスのとれた配置の工夫	○	○	○	○
		2	根拠を明確にししながら自分の考えを形成するための学習過程の工夫	◎	◎	○	◎
		3	社会生活と関連付けた学習活動の工夫	◎	△	○	◎
5	自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため、実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする活動が重視されているとともに、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりする中で、我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1	実際の場面で話す・聞く、書く、読む活動の工夫	○	◎	○	○
		2	伝統的な言語文化を含め、豊かな言語感覚の育成に向けた工夫	○	○	○	◎
		3	読書活動へ繋がる工夫	○	○	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1	人権教育の推進	○	○	○	○
		2	道徳教育の推進	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1	単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	◎	○	◎	○
		3	他校種との接続	○	○	○	◎
		4	家庭・地域との連携	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○

【国語】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○各学年の巻頭に、国語の学習で身に付ける基礎的な力を「領域別教材一覧」として明示し、学習のポイントを具体的かつ明確に取り上げられており、生徒がどのような力を身に付けることが必要なのかを捉えやすく、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に向け、工夫されている。</p> <p>○各単元の冒頭に、学習領域と生徒目線の問いかけが吹き出しで示されているとともに、単元末には、「てびき」として、学習目標・学習過程・振り返り活動が設定されている。特に、学んだことを自分の言葉でまとめ、振り返る活動では、各単元の目標や「言葉の力」を意識しながら振り返ることができる内容になっているなど、よく工夫されている。</p> <p>○巻末の学年別の新出漢字表では、部首や筆順、複数の熟語例が掲載されており、新出漢字を効率的に学習できるよう工夫されている。また、単元末の「てびき」にある「広がる言葉」では、語彙を増やし、習得するタイミングを単元ごとに設けられるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元に、情報を的確に捉え考えを深めることが促されている「思考の方法」や、どのように読めばよいのかが分かる「読み方を学ぼう」が図解で示され、視覚的に分かりやすい。また、単元の言葉をきっかけに語彙を広げる「語彙を豊かに」が設定されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の冒頭に、学習目標が示されているとともに、単元末に設定されている「学びの道しるべ」には、「学びを振り返る」として、生徒が学んだことを自分の言葉でまとめる手がかりとなるキーワードが示されているなど、工夫されている。しかし、「学びを振り返る」において、どの単元においても「学んだことを自分の言葉でまとめよう。」と記載されており、生徒が自身の学びや気づきを言語化する手立てとしてはやや弱い。</p> <p>○新出漢字は、本文脚注に読みと文中での使われ方が示されるとともに、単元末には、一覧表が掲載されている。また、巻末には、部首、筆順、複数の語例が一覧で掲載されるとともに、巻末資料として、「学習用語辞典」や「語彙の広がり」等も用意されるなど、生徒が新出漢字や語彙を繰り返し見返すことができるよう工夫されている。</p>	<p>○読む領域を中心とした各単元の冒頭に設定されている「学びナビ」では、その単元で「何を学ぶのか」に関連する学習領域が生徒にとって分かりやすく取り上げられているなど、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の前にある「学びナビ」で目標を確認するとともに、単元末に設定されている「みちしるべ」には、学習内容とその単元で行う言語活動、振り返り活動が示されており、見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、主体的に学習に取り組む態度についての振り返りもできるような課題や問いも設定されているが、各単元末の振り返り活動については、学習目標が達成できたかどうかをチェックボックスにチェックする形のため、生徒が自分の言葉でまとめる手立てとしてはやや弱い。</p> <p>○各単元に新出漢字と語彙がまとめて掲載されるとともに、巻末には、筆順や熟語等を掲載する新出漢字表が各学年で掲載されている。また、語彙の習得においては、各単元の終わりに「言葉・情報」、巻末の「学びナビ一覧」に「理解・表現に役立つ言葉」が用意されており、様々な語彙を習得したり、言葉の世界を広げたりするきっかけとなるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元に設定されている「学びへの扉」「学びのカギ」では単元で身に付ける資質・能力を焦点化して示し、図解されていることで、視覚的に分かりやすいとともに、学習用語が丁寧に解説されるなど、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫され、優れている。</p> <p>○単元の冒頭に、学習目標が示されているとともに、単元末の「学びへの扉」には、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」といった学習過程が視覚的に分かりやすく示されており、生徒にとって何をどのように学ぶのかが明確になっている。また、「振り返る」では、どの資質・能力に対する振り返りなのか明確であり、加えて主体的に学習に取り組む態度の振り返りでは自らの学びの調整を図るヒントとなる言葉が掲載されている。学んだことを自分の言葉でまとめるため、単元ごとに自己変容を意識できるような課題や問いが設定されており、優れている。</p> <p>○新出漢字は、本文脚注に読みと文中での使われ方が示されている。また、巻末には、部首、筆順、複数の語例、さらに慣用句や四字熟語等での用いられ方などが掲載されるとともに、日常生活や学習活動に役立つ表現力を高めるための「語彙ブック」が設けられており、生徒が新出漢字や語彙を習得できるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
	<p>○巻頭には、これから1年間で習得を目指す学習事項が掲載されており、生徒が新たな言葉の力を身に付けようとする動機付けとなっている。「学びを支える言葉の力」では、複数の単元で身に付けた力を活用できる言語活動や、情報の信頼性を確かめる活動が提案されるなど、学習や対話の基本を活動しながら身に付けられるよう工夫されている。また、各単元末の「てびき」にある「広がる言葉」では、語彙を広げ・活用する工夫が示されている。</p> <p>○各単元の脚注部分をはじめ各所に見られるキャラクターの吹き出し内容が、生徒が課題を発見するヒントや学習のつまずきのヒントとなるよう工夫されている。話すこと・聞くこと、書くことの単元では、それぞれの活動過程の具体例や生徒作品の完成例、対話例が活動しているイラストと共に示されるなど、言語活動の様子を具体的にイメージできるよう工夫されている。</p> <p>○話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの3領域の単元では、各単元で学習のポイントが「言葉の力」として示されており、生徒に分かりやすい。また、各単元で多彩な言語活動が系統立って配置されているなど、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○各章に設定されている「読み方を学ぼう」では、様々な表現の仕方や文章構成、論理の展開が可視化されており、授業で習得した知識及び技能を確認することができるとともに、他の単元でも活用できるように思考に関わる用語や表現等が整理されて示されている。また、各学年の冒頭に「グループディスカッション」の単元が設けられており、生徒が年間を通して学習に活用できるよう工夫されている。各単元に用意されている「語彙を豊かに」では、新たに獲得した語彙を日常レベルでも広げる工夫が示されている。</p> <p>○各学年の「情報に関係づける」の単元や、各学年に配置された（1年「グループ新聞」、2年「100年後の水を守る」、3年「課題作文」）において、日常生活や社会生活の中から、生徒が自ら課題を発見し、互いに意見を出し合いながら課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、各単元末においても、単元を通して学んだことを基に言語活動を展開する方法が提示されており、単元を基にした生徒の対話を促す効果が期待でき、優れている。</p> <p>○各単元に、学習内容が分かりやすくまとめられているとともに、学習活動の文脈に沿って活用できるよう「順序立てる、関連付ける、具体化する」など、9種の「思考の方法」が、3年間を通してバランスよく設定されているなど、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元の「学びナビ」では、その単元の学習のポイント、思考に関わる用語や表現等が取り上げられており、生徒が学習内容を把握しやすい。また、生徒が活用すべき言語能力を意識しながら、学習を進めていけるよう工夫されている。各領域で系統立てられた単元配置がなされた上で、各単元に目標と振り返りの項目が分かりやすく設定されており、学習の内容を整理しながら理解できるよう工夫されている。</p> <p>○話すこと・聞くこと、書くことの単元では、多様な言語活動が提案されている。また、読むことの単元では、「みちしるべ」として、内容の把握、考えの形成など、学習過程に応じた段階的な学習内容が整理して示されるなど、言語活動の充実が図られており、生徒にとって使いやすく工夫されている。</p> <p>○各学年に一度設定されている「学びのチャレンジ」では、文学や説明文に加え、世論調査、生徒会規約といった実用的な文種も含め、図表やグラフなどに関連付けながら、読み取り、目的に応じて活用するといった課題が設定されており、生徒が思考力、判断力、表現力等を学校生活の中で身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○話すこと・聞くこと、書くことの単元では、各領域の力を融合させる「生かす」や、各単元での学びを有機的に関連させて活用する「学びのカギ」が設定されており、各領域の一体的な学びが深められるよう工夫されている。また、身に付けた語彙を広げ、生活の場面で活用する課題が設定される「言の葉ポケット」や、既習の技能の活用を通して単元の学習を始める「やってみよう」や読書単元の続きを紹介する「続きはこちら」等、生徒が自発的に学ぶための手立てがよく工夫されている。</p> <p>○各単元の単元末に設定されている「学びへの扉」では、学習目標に加えて、学習過程に沿って「捉える」「読み深める」「考えをもつ」の3段階の課題が提示され、課題に応じた言語活動例が示されている。また、生徒がつまづきやすい場面をイラストや吹き出しで可視化したり、意見と根拠、原因と結果、情報と情報の関係を分かりやすく示す「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」を適宜設定するなど、言語活動を促す工夫が優れている。</p> <p>○巻頭の「思考の地図」では、様々な場面で活用できる思考法や可視化の方法が一目で分かるよう紹介されている。また、書くことの単元では、思考ツールや図表を用いて情報を視覚化する方法を具体的に示して情報を整理することを促したり、その文章形態でよく使われる表現や文型を示したりすることで、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすiよう工夫・配慮されていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○物語仕立ての「日本語探検」、ゲーム感覚で取り組める「文法の窓」、言葉の学びを深める漫画「学びの扉」等、各所に生徒の探究意欲を高める工夫が見られる。また、話すことの単元では、課題だけでなく場面設定の重要性にも触れることで、場面に応じた話し方や言葉選びについて、生徒自身が考え、探究していく動機付けとなるよう工夫されている。また、各領域の学習で「てびき」等として学習の進め方を提示し、学習目標を吹き出しで示し、学び方のポイントを「言葉の力」としてまとめることで、学習の始めから振り返りまでを見通した主体的な学びを促す工夫がされている。話すこと・聞くこと、書くことの単元では、具体例が豊富に掲載されるなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。さらに、話し合いなどの言語活動には、キャラクターによる話し合い例が用意されるなど、対話的な学びを深められるようよく工夫されている。</p>	<p>○「思考の方法」が3年間を通してバランスよく配置されるとともに、各単元の「語彙を豊かに」では、語感を磨くための多様なテーマで単元に関連した語彙が取り上げられるなど、生徒の探究的な学びが促されている。また、領域別単元一覧で「付けたい力」を示すことで、生徒が見通しをもって学習に取り組みやすくするとともに、自分の学習を振り返り、評価することで主体的な学びにつながるよう工夫されている。さらに、各学年で設定されている単元「情報を関係づける」では、資料となる文章や図表も併せて掲載されており、共通の情報を基にした対話的な活動が促されている。また、「グループディスカッション」から話し合いを効果的に行うためのこつが系統的に示されるなど、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>○写真や広告等の様々なメディアと表現の関係性について扱う題材が数多く設定されているなど、実生活とのつながりや実際の社会活動と重なる思考体験を動機付けとして、生徒の探究意欲を喚起するよう工夫されている。また、各単元の「学びナビ」では、何を学ぶかを明確に示し、方向付けをした上で題材に取り組むことができるよう工夫されており、主体的な学びが促されている。さらに、読むことの単元では、「みちしるべ」として具体的な学習の進め方や、交流活動の例が提示されるなど、生徒が主体的・対話的な活動に取り組みやすiよう工夫されている。</p>	<p>○全体を通して、日常生活と関連させた多様な文章が題材として掲載されており、情報の質や信頼性を吟味する活動を繰り返し行うことで、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。また、巻頭の「思考の地図」には、思考ツールなどの例が掲載されており、生徒が課題や学習内容に適した学習方法を主体的に選択し、思考を深められるよう工夫されている。また、各単元の「学びへの扉」では、「見通しを持つ」「実行する・試行錯誤する」「振り返る」のように、学習の進め方が丁寧に明示されており、特に「振り返る」ではキーワードと共に振り返るポイントが明示され、生徒の主体的な学習を促す工夫が優れている。さらに、各学年で設定されている「聞き上手になろう」では、対話の場面だけでなく、生徒が対話を広げるための質問力を身に付けられるような手立てが掲載されるなど、工夫されている。</p>

【選定の観点3-2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
	<p>○各単元に「広がる言葉」として、日常生活への広がり具体例が示されている。また、「未来」やくさりマークで他教科の学習や多様な世界とのつながりが示され、国語科の学習で身に付けた資質・能力を発展的に発揮できる場面を、生徒自身が発見し、実感できるよう工夫されている。</p> <p>○調べ学習や情報収集する場面において、ICT機器の利用を促すとともに、「書く（伝達）」単元において、ICT機器を活用して新聞を作成するなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。</p>	<p>○各所に設定されている「読み方を学ぼう」では、具体的な思考方法や活動手順が提示されており、他教科や社会生活での応用といった発展的な学習にもつながるよう工夫されている。</p> <p>○グループでの話し合い活動の際に、ICT機器を活用して交流した例をイラストで掲載したり、読書の記録をつけるにあたってICT機器の利用を促すなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。</p>	<p>○巻末の「言葉の自習室」には、多様な作品や資料が掲載されており、生徒の興味や関心に沿って、さらに作品を読んだり調べたりすることが促されている。また、各学年に「学びのチャレンジ」として、自分の力で様々な文章や資料を読み、表現する単元が設定されるなど、発展的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の「根拠を明確にして意見文を書く」、「構成を明確にして説明文を書く」、「情報を確かめてスピーチをする」活動において、ICT機器を利用して情報収集し、作成したものを生徒同士で共有する場面が設定されているなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。</p>	<p>○クリティカルな思考力・判断力を育成するため、比較対象となる文章がユニット化して掲載されるなど、多彩な工夫が優れている。また各単元に、「学びのカギ」として、学習のポイントや前後の学習とのつながりが丁寧に明示され、生徒が身に付けた言葉の力を、領域や教科を超えて活用する際の学習ポイントが図解されており、発展的な学習につながるよう工夫されている。さらに、巻末の「学びを深める」には、3年間を系統立てた語彙ブックが掲載され、資料編には、単元と関連する資料、郷土ゆかりの作家や作品の一部が掲載されており、生徒がさらに作品を読んだり調べたりすることが促されているなど、工夫されている。</p> <p>○各学年巻末の「ICT活用のヒント」において、各領域の学習過程でのICT機器の効果的な活用場面が示されているだけでなく、「学びへの扉」の中にもICTマークが表示され、ICT機器の活用を促す工夫がなされており、生徒が個別最適な学びにつなげることをイメージしやすい点が優れている。また、「学びへの扉」の中では、活動の説明に「友達と」「友達の」という表現が意図的に入れられており、協働的な学びにつながるタイミングを示す工夫がなされている。</p>

【選定の観点4】

国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を身に付けることができるよう、3領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の指導事項がバランスよく配列され、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを形成するための言語活動が適切に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○全体を通して、話すこと・聞くこと、書くことの単元では、相手の立場を踏まえて議論したり、作品について助言し合ったりするなど、根拠をもって伝え合い、高め合う活動が重視されている。また、「学びを支える言葉の力」では、身に付けた資質・能力を活用して、根拠を吟味したり、情報を分類・比較してまとめたり、共通点や相違点を踏まえて自分の考えを述べる等の課題が設定されるなどの工夫が優れている。</p> <p>○巻頭の「言葉の学習を始めよう」に、国語科の学習の意義が示されているほか、教科書全体を通して「未来を考えるための九つのテーマ」が設定されており、社会の課題と向き合えるようになっている。また、話すこと・聞くこと、書くことの単元には、日常生活や社会生活に関わる多様な内容が取り上げられているなど、生徒が国語科で培った言語能力を生活に生かしていこうとする態度を身に付けられるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○すべての単元において、自分の考えを形成する活動が重視されており、各単元末の「学びを広げる」には、各単元の学習によって身に付けた資質・能力を活用し、自分の考えを形成するための言語活動が一体的に構成され、よく工夫されている。また、各単元の「学びの道しるべ」には、学習目標に対応する学習過程のほか、思考の方法について分かりやすく解説されており、生徒が考え方や表現の方法と共に、根拠をもって自分で考える態度や力を身に付けられるようよく工夫されており、優れている。</p> <p>○巻末の「社会生活に生かす」では、メモの活用、話し合いの形式、辞典の活用、手紙やメールの書き方等についてポイントや例が取り上げられているが、各学年とも同じ内容となっており、本文との関連も明確に示されておらず、生徒が国語科で培った言語能力を社会生活で生かすことを促す工夫がやや弱い。</p>	<p>○各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○3領域の各単元に設定されている「学びナビ」では、理解したり表現したりする活動を支える言葉や学習用語が取り上げられており、また、学習の流れや考えるヒント等も示されているため、生徒にとって、自分の考えを形成する流れを意識しやすく、根拠を明確にして、考えを深め、表現する方法を習得する手立てとなるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「言葉の自習室」では、「模擬面接をしてみよう」「レポートの書き方」「アイデアの出し方」「話すこと・書くことテーマ例集」など、生活や学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を伸長するため、社会生活と関連付けた例が複数示されるなど工夫されている。</p>	<p>○各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○根拠を明確にして自分の考えを書く単元が3年間にわたり系統立てて設けられている。特に、「情報整理・思考のレッスン」では、情報整理や思考の方法が図解で分かりやすく掲載されており、生徒が自分の考えを整理し、深めるための方法を習得しやす。また、ここで学習したことが練習問題によって確認できるよう工夫されているなど、優れている。</p> <p>○案内文、手紙・メールの書き方、提案・スピーチ、討論の仕方等、社会生活と関連付けた学習活動が適切に取り上げられており、生活や学習の基盤となる言語能力、情報活用能力を身に付けられるよう工夫されている。また、話すこと・聞くこと、書くことの単元には、「生かす」として、日常生活や将来への生かし方が明示されており、特に、書くことの指導事項を取り扱う言語活動が多様で、生徒が知識及び技能を活用する場面も社会生活を想定した場面設定が効果的に盛り込まれるなど、よく工夫されている。</p>

【選定の観点5-1】

自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため、実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする活動が重視されているとともに、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりする中で、我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○話すこと・聞くことの活動では、順序立ててスキルアップしながら、生徒が合意形成を目指す対話力が身に付けられるよう工夫されている。また、書くことの活動では、意見文や批評文等を論理的に書く活動、韻文や創作文を感性や想像力を大切に書く活動、生活に必要な礼状や依頼状を書く活動がバランスよく配置され、直前の単元と関連付けるなど、工夫されている。読むことの活動では、各単元のタイトル下のイラストによって、働かせたい言葉による見方・考え方を示す工夫がされている。</p>	<p>○話すこと・聞くことの活動では、各学年の第一単元にグループディスカッションが設定され、各学年のねらいに即した「話し合いのこつ」が系統的に掲載されている。また、書くことの活動では、意見文や行事案内リーフレットなど、生活に必要な書く活動がバランスよく取り入れられており、直前の読むこと単元と関連付けることで効果的な学習ができるように工夫されている。さらに、各学年の末には、話すこと・聞くこと・書くことの総合的な言語活動の単元が設定されており、学びがつながるように工夫されている。読むことの活動では、「読み方を学ぼう」のページによって、その文章で働かせたい言葉による見方・考え方を示す工夫が優れている。</p>	<p>○話すこと・聞くことの活動では、プレゼンテーションや話し合いにおける学習のポイントや手順が示されている。また、書くことの活動では、案内文、意見文や批評文など、様々な文章に関する書くポイントを取り上げ、日常的な学習や生活の中で書く意欲を高める工夫がされている。読むことの活動では、文学的文章、説明的文章どちらについても、文章の前に言語活動の中心となる視点が示されており、どのような言葉の見方・考え方を働かせればよいかを生徒が捉えられるよう工夫されている。</p>	<p>○話すこと・聞くことの活動では、生活の中からテーマを設定したプレゼンテーションや討論会が提示され、そのポイントと手順を示すことで、生徒が意欲的に話し合い活動を進められるよう工夫されている。また、書くことの活動では、説明、批評文、案内文などの社会生活に関わる多様な言語活動において必然性をもって書くことに取り組める場面が設定されるなど、工夫されている。読むことの活動では、各単元で「学習活動」について明記されており、生徒が見通しをもって活動できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5-2】

自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため、実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする活動が重視されているとともに、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりする中で、我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○古典について、作品の全容や歴史的背景を紹介する折込み資料や「古典コラム」等で、生徒が古文の様々な表現や関連作品に親しめるよう工夫されている。また、巻末に、当該学年で学習する古典に関する資料が掲載され、古典の世界観が広げられる工夫がされている。さらに、読み継がれる名詩や「扉の詩八編」として詩・短歌・俳句を掲載することで、生徒が韻文のもつリズムや洗練された言葉の数々に触れ、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。読むことの単元末に設定されている「広がる言葉」では、単元で使われた語句と関連する問いが設定されている。また、各所に語彙学習を進める単元が用意されているなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>○3年間で422冊の書籍が掲載されている。単元と関連する様々な書籍が紹介される「読書案内」、様々な読書の在り方を提示する「読書への招待」、ビブリオバトルやPOP作りが提案される「読書活動」、情報リテラシーを育む「読書と情報」など、学校図書館の活用や、生徒の日常生活での読書活動につながるよう工夫されている。</p>	<p>○古典について、作品の全容や名場面、他作品とのつながりを紹介する資料や作品年表、コラム等で、生徒が古典の世界観を広げられるよう工夫されている。また、巻末に、落語・歌舞伎・能・狂言等の伝統芸能がシナリオと共に紹介されるなど、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。単元末に設定されている「語彙を豊かに」では、単元で使われた語句と関連する語句が掲載されている。また、「辞書を活用する」「英語との関連で学ぶ」など語彙学習を進める単元が適宜設定されている。さらに、巻末の「語彙の広がり」には、多様な言葉が一覧で整理されているなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>○3年間で283冊の書籍が掲載されている。読むこと単元の末尾に関連書籍が紹介される「私の本棚」テーマごとに書籍が紹介される「小さな図書館」、ビブリオバトルやブックトークが提案される「読書活動」、作家の読書体験を紹介する「私の読書体験」など、学校図書館の活用や、生徒の日常生活での読書活動につながるように工夫されている。</p>	<p>○古典について、他社と比べ、抜粋部分の文章量の多さや難易度の高さが感じられるが、誰もが知っている珠玉の古典作品が取り上げられている。また、巻末に、歌舞伎・狂言・落語等の古典芸能が紹介されており、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、文学史に名を残す文豪の作品や「四季のたより」等に提示される声に出して読みたくなる文語の定型詩など、生徒が伝統的な言語文化に親しみながら、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。各単元末にある「学びナビ」の「言葉・情報」では、単元で着目すべき語句が取り上げられている。また、巻末の「表現に役立つ言葉」「理解に役立つ言葉」では、表現活動に関わる言葉が一覧で整理されているなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>○3年間で334冊の書籍が掲載されている。各章末に関連する書籍が紹介される「広がる本の世界」や、引用の仕方、ビブリオバトルが紹介されるなど、学校図書館の活用と共に、生徒の日常生活での読書活動が提案されており、工夫されている。</p>	<p>○古典について、生徒が古典学習の意義を感じられるように、折込み資料の設定、登場人物や全体像が掴める図解等を設ける工夫がされている。また、巻末に、百人一首・能・狂言・歌舞伎・落語等の古典芸能が紹介され、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、「季節のおしり」等に提示される詩歌や季節の言葉により、生徒が韻文のもつリズムや語感に触れ、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。単元末の「言の葉ポケット」では、単元と関連する語句を考察するための問いが設定されている。また、「語彙を豊かに」には、テーマ別の語彙一覧が設定されている。さらに、巻末の「語彙ブック」では、思考や感情を言語化できる内容が掲載されており、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識し、言語感覚を豊かにできるよう工夫されている点が優れている。</p> <p>○3年間で447冊の書籍が掲載されている。各単元末に関連書籍が紹介される「広がる読書」、テーマごとに書籍が紹介される「本の世界を広げよう」、POP作りやブックトークが提案される「読書を楽しむ」、様々なジャンルの書籍や作家のコラムが紹介される「いつも本はそばに」など、学校図書館の活用や、生徒の日常生活の中での読書活動につながるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○価値観が民族によって相対的なものであることに生徒が気付くことができるような文学的文章・説明的文章が取り上げられるなど、相手の立場に立って感じ取り、多様な価値観を尊重する態度を養う機会となるよう工夫されている。また、1年生では「多様性と共生社会」、3年生では「国際社会と私たち」をテーマに考える単元も設定されており、人権について国語の力を使って学べるよう工夫されている。</p> <p>○命や戦争を題材とする文章を取り上げることで、生徒の道徳心に訴えかけるよう工夫されている。また、3年生では、合意形成に際してお互いのよさを生かすこと、事柄や考え方を多面的に捉えることの大切さを説いた上で活動することが提案されるなど、生徒が人権や道徳教育の大切さへの関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○生き甲斐や自分の価値、民族差別について考えさせられる文学作品、共生社会について知り考える説明文などが取り上げられ、SDGsや防災教育など現代社会を生きていく上で出会う様々な課題やテーマについて考える機会となるよう工夫されている。</p> <p>○命や戦争を題材とする文章を取り上げることで、生徒の道徳心に訴えかけるよう工夫されている。また、1年生では生徒が人間としてのコミュニケーションのあり方を考える機会をもてる題材、2年生では、互いの考えを尊重することの大切さを考える題材、3年生では「私」について考えるという哲学的な文章が取り上げられており、生徒が自分の生き方について考えるきっかけとなるよう工夫されている。</p>	<p>○子どもの権利、少数民族、障害者スポーツ、肖像権、精神面のバリアフリー、LGBTなどを内容とする説明文や評論等が取り上げられており、生徒が様々な人権問題について知り、考える機会となるよう工夫されている。</p> <p>○命や戦争を題材とした文章を取り上げることで、生徒の道徳心に訴えかけるよう工夫されている。また、情報の真偽の判断力にとどまらず、社会正義について考えるメディアリテラシーに関する単元や、人間の人間たる所以に気付かせる人工知能AIに関する単元や、SDGs関連の単元を通して課題解決能力を養い、生徒が自分自身を含めて人間らしさについて考える機会となるよう工夫されている。</p>	<p>○自分らしさやアイデンティティーについて考察できる文学作品、先入観を取り払うことや、ものごとを新しい視点で捉え直すことの大切さを再認識できる説明文など、生徒が人権の大切を感得でき、SDGsへの関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○命や戦争を題材とした文章を取り上げることで、生徒の道徳心に訴えかけるよう工夫されている。また、「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」「達人からのひと言」など、生徒が事柄や情報を多面的に捉え考えることの大切さを感じられるよう工夫されている。さらに、1年「動きを表す言葉」、2年「色の名前」、3年「時を表す言葉」といった単元で、生徒が日本語の豊かさや美しさに触れる場が用意されるなど、感動やよりよく生きる喜びといった道徳的価値を感じる中で、語彙を広げられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○巻末に、「言葉の力」として、3年間を通した3領域の学習目標等が、系統的・発展的に一覧の形で配列されている。領域別の学習目標等がひと目で分かるよう構成されており、生徒にとって分かりやすいよう工夫されている。</p>	<p>○各学年各単元が螺旋的・反復的に積み上げていけるよう系統的・発展的に配置されている。巻末の折込資料「読み方を学ぼう一覧」では、3年間を通した読む活動のつながりが、生徒にとって分かりやすいよう工夫されている。</p>	<p>○3年間を通して、各学年各単元を構成する単元や題材に連続性をもたせるとともに、学年間にも系統的な単元の構成が工夫されており、様々な領域の学習を反復的、螺旋的に進められ、系統的・発展的な学習につながるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元の学びが他の単元に生かせるよう系統的な配列が工夫されている。また、巻末の資料編「学びのカギ」一覧では、領域ごとの学びがまとめて掲載されており、生徒の系統的・発展的な学習につながるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
	<p>○他教科と関連した単元がバランスよく配置されている。また、他教科等の学習内容と関連する題材がいくつも取り上げられ、関連する教科がマークで明示されるなど、生徒が教科間のつながりを意識しやすく、相互に学びを深めることができるよう、よく工夫されている。また、戦争・平和、防災、環境等の題材が積極的に扱われているとともに、各学年に、メディアリテラシー及び情報活用能力の育成に関する単元が用意されている。</p> <p>○1年生前半の単元は、中1ギャップへの配慮としてフォントが工夫されたり、小学校での学びを復習できるよう内容が工夫されたりしている。また、3年生では、社会性の高い題材や報道や評論、論説文など、高校の学習につながる単元が配置されるなど、小中高の接続が配慮されている。</p> <p>○「方言と共通語」のほか、文学単元でも、地域への愛着がもてるような単元が取り上げられている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるとともに、脚注語彙や資料編などは、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○他教科と関連した単元がバランスよく配列されている。また、各学年の第1単元に設定されるグループディスカッションを通して、学年当初により実践的な言語活動を行うことで、生徒が他教科での言語活動に生かせるよう工夫されている。各学年の第6単元に設定される「情報を関連づける」では、図表や文章など多様な情報を関連付けながら、現代的な諸課題について、深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>○1年の最初の単元では、中学校の学習に抵抗を感じることなく、スムーズにスタートできる単元が配置されている。また、3年生では、ものの見方を広げたり、生き方を考えたりするような単元が配列されるなど、小中高の接続が配慮されている。</p> <p>○「方言と共通語」など、地域への愛着がもてるような単元が取り上げられている。また、各学年巻末の資料編では、豊富な資料や学習方法を提案するなど、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○他教科と関連した単元がバランスよく配置されている。また、「学びを生かす」では、国語科で学んだ内容や言語活動を他教科や実生活に生かす視点が示されるなど、生徒にとって使いやすいよう工夫されている。全学年で「持続可能な未来を創るために」というSDGsの視点から構成された単元が設定されており、国語科の学習を通して、今日的な課題と一貫して向き合い続けられる点が優れている。</p> <p>○1年冒頭単元では、小学校の教科書で扱われている教材を例にして、中学校の学習のイメージをもてるよう工夫されている。また、「学びナビ」の活用を通じた学習の積み重ねによって、高校の学習内容を見据えた論理的思考力の育成につなげるなど、小中高の接続が配慮されている。</p> <p>○巻末の「ふるさとを巡る」では、文学者や作品と各地域とのゆかりが紹介されている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるとともに、「学びナビ」等で、自分の力で取り組むための資料等が用意されるなど、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○他教科と関連した単元がバランスよく配置されている。また、「情報収集の達人になろう」「表現を工夫して書こう」「発想を広げる-表現テーマ例集」等では、他教科での言語活動等に生かせる学習活動が紹介・提案されているなど、生徒にとって使いやすいよう工夫されている。SDGs、環境、情報、防災、キャリア教育等に関わる単元が適切に配置され、教科横断的に取り組めるとともに、今日的な諸課題を自分の問題として、多角的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>○1年生の初めの単元に入る前に、小学校での既習事項を確認できる単元が配置されている。小学校の学習でも扱われた作者の文学作品が掲載されており、親しみを感じやすくする工夫が優れている。また、3年生では、高校で出会うような作家、評論家の文章や古典作品が取り上げられるなど、小中高の接続が配慮されている。</p> <p>○3年生の巻末資料に、47都道府県全ての郷土ゆかりの作家や作品が紹介されている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるとともに、「豊かに表現するために」「発想を広げる」等で、自分の力で取り組むための資料等が用意されるなど、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどが、文章の理解を助けるものとなり、目的に応じて活用できるよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>また、本文書体に使われている明朝体は、筆使いや字形を書き文字に近づけたもので、生徒が読む文字と書く文字との違いで混乱することを避けられるよう工夫されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、生徒の負担軽減のため、ページ数を約1割削減されている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどが、文章の理解を助けるものとなり、目的に応じて活用できるよう工夫されている。</p> <p>○専門家の指導の下、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、本文は独自の明朝体とゴシック体・教科書体で書かれるなど、見やすく読めるよう工夫されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に優しい紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどが、文章の理解を助けるものとなり、目的に応じて活用できるよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>また、本文書体に使われている明朝体やゴシック体は、漢字学習も考慮した独自の字体となり、生徒の学習にも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に優しい再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどが、文章の理解を助けるものとなり、目的に応じて活用できるよう工夫されている。</p> <p>○専門家の指導の下、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、小さな文字はユニバーサルデザインフォント（UD書体）を用いるなど、自然で見やすく、字詰め、行詰めも読みやすいよう工夫されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に配慮した紙や植物油インキが使用されている。</p>